蕨12 広報WARABI

2020/令和２年
わらび・841

●令和２年12月１日発行／発行所・蕨市役所
●11月１日現在人口：75,681人　前月比　－23人
世帯数：39,978　　人口密度：14,810人／㎢
●蕨市の面積　5.11㎢

～今月の特集～
●私たちの学校生活……２
●新型コロナウイルス関連情報…12
●ベジフェス開催中……14

特集

私たちの学校生活

コロナ禍のいま、できることを

私たちの学校生活

3か月に及ぶ休校を経て、今までと異なる学校生活を送る生徒たち。一生に一度しかない青春の日々をどんな思いで過ごしているのでしょうか。今月は市内高校・中学校に焦点を当て、生徒たちの前向きな姿や思いを紹介します。

Case1　蕨高校吹奏楽部／音楽部

両部のコラボレーション動画を配信

音楽で皆さんにエールを

動画収録に向け綿密に打ち合わせをする両部の代表者

苦境を機に新たな挑戦を

「コンクールがなくなり、目標を失った部をどうまとめるか頭を抱える日々でした」と、振り返る吹奏楽部部長の拝郷巧哉さん。過去には全国大会で入賞を果たすなど、輝かしい実績のある同部の代表として思い悩んでいました。

そんなときに届いた一報にさまざま反応。せっかくならば演奏も普段とは異なる手法をと、同じ境遇の音楽部にコラボレーションを打診しました。

一方、歌うという行為自体が大きく制限を受けていた音楽部。部長の石田唯花さんは「以前のように、みんなと舞台で歌いたいと思っていたので、うれしい提案でした。実は人数の違いで二の足を踏んでいましたが、合同で演奏してみたかったんです」とにっこり。

早速開いた話し合いで議論したのが選曲でした。流行曲や演奏経験のある曲が候補となるなか、拝郷さんが「誰もが知っていて、なにより元気が出る曲を」と提案すると、50年以上前に世界中で大ヒットした「上を向いて歩こう」がメイン曲に決定。51人の今年初舞台が現実味を帯びてきました。

動画配信に向け全力投球

本格的な練習に入ろうとしていた9月上旬、石田さんの胸には、「指揮者を見ながら、ピアノの伴奏で歌う通常の合唱と違うけれど、対応できるだろうか」と、一抹の不安がありました。ところが部員を見渡すと、そこには意欲に燃えた顔、顔、顔。活動休止を経て、ともに歌える喜びをかみしめ、なんでもしようという気概にあふれていたのでした。

それは吹奏楽部も同様でした。演奏の喜びに浸るとともに、そのエネルギーを家族や先生、地域に届けようと、音色に磨きをかけていきました。

コラボレーションという試みに当初は苦労しましたが、互いの響きを感じ、音を合わせることで、やがて豊かなハーモニーを織りなすように。その仕上がりに拝郷さんは、「音楽の力で人の心を動かすことができると信じています」と、自信をのぞかせました。

そして11月3日。動画収録の日を迎えました。

蕨高校音楽部部長
石田 唯花（いしだ ゆか）さん（2年）

コロナでつらいときもありましたが
その思いをばねに一歩踏み出せました

蕨高校吹奏楽部顧問
木村 久美子（きむら くみこ）教諭

自ら考え行動し精神的にも大きく成長

両部による演奏は、優しい蕨高生らしく温かみを感じさせるものです。今回の動画収録に当たり、生徒たちは、曲目や会場、撮影のしかたまで、自らの力で一から舞台を創り上げていきました。初めての試みな上、練習も以前と同じようにはできないなかでしたが、各々がすべきことを考えて行動した結果だと思います。この経験はきっと、今後の人生で困難に直面したときに、それを乗り越える力となることでしょう。

音楽部（部員17人）

吹奏楽部（部員34人）

蕨高校吹奏楽部部長
拝郷 巧哉（はいごう たくや）さん（2年）

私たちの演奏でまちを活気づけたい
音楽にはその力があると信じています

クラスメイトと顔を合わせて食べる給食。仲間と協力して取り組む学校行事。

部員一丸となって最大限の力を発揮する大会やコンクール。

新型コロナウイルス（以下コロナ）は授業だけでなく、さまざまな学校生活に影響を及ぼし、これまであたりまえだった日常が、あたりまえでなくなっています。

しかし、そうした限られた環境の下でも、工夫を重ねながら前を向いて活動を行っている生徒たちの姿があります。

まずは、蕨高校吹奏楽部と音楽部の51人に迫ります。

大きく制限された部活動

1月に国内初の感染者が報告されてから、日を追うごとに脅威を増していったコロナ。蕨高校では2月から部活動が休止となり、再開されたのは夏の日ざしが照りつけ始めた6月になってからでした。

その後も時間や環境が大きく制限されるなか、8月に同校に一通の通知が届きました。それは「アーティスト動画配信プロジェクト!! in Warabi（※）」の案内。ここから吹奏楽部と音楽部の新たな幕が開くことになりました。

※コロナ禍で活動の場が制限されている市内の文化芸術の担い手を支援するとともに市民の皆さんに文化芸術に触れる機会を提供する市の動画配信の取り組み。70団体が参加。現在動画を続々配信中

上を向いて歩こう

音楽部 × 吹奏楽部

「初」のコラボレーション、がんばっていきましょう。Go、蕨！」と、文化の日に蕨高校音楽部、吹奏楽部の51人が気合いを入れて臨んだ晴れ舞台。市のアーティスト動画配信プロジェクトに参加するため、「上を向いて歩こう」など誰もが知り、元気の出る選曲をしました。入念なリハーサルを経て、撮影開始。12台のスマートフォンを駆使し、演奏会では味わえない臨場感のある映像を収録しました。

コロナに負けずに練習してきた皆さんのひたむきな姿は、きっと見る人の胸を打ち、明日への活力となるでしょう。

▲こちらからコラボ演奏動画（ジブリメドレー、上を向いて歩こう）を御覧いただけます

音楽部：①見る人がより楽しくなるように振り付けをつけました ②指揮者が後ろにいるため吹奏楽部の音と合わせるのが大変でした。練習中にはお互いの響きをしっかり確かめるため向かい合わせになることも ③「自分たちの笑顔で少しでも元気を出してもらえたら」と本番収録に向けて特に気をつけたのは表情です

吹奏楽部：④普段は後ろから曲を支えるドラムも動画では近くから撮影した迫力のある演奏を見ることができます ⑤合唱を意識して演奏することにより音楽の幅を広げた部員たち。「今後のコンクールに向けてよい経験になった」と語ってくれました ⑥演奏者全員が映るようにスマートフォンを設置しています

全校で取り組み推進 学びを今後の生活に

東中学校
八島（やしま） 奈央子（なおこ） 養護教諭

誰もが感染する可能性があるコロナは、東中でも人ごとでないため、今年は全校が一丸となり、さまざまな取り組みを進めてきました。そうしたかいもあり、今では校内での意識の高まりを感じています。

差別や偏見は、私たちの日常に潜む課題です。生徒たちは取り組みを通じて、正しい情報を得て、行動する重要性を理解できたのではないでしょうか。なにより東中生はみんな思いやりのある子たちです。これからもその心を持ち続けてほしいですね。

９月26日に行われた学校保健委員会。学校医の３人を迎え、東中学校保健委員会委員、教職員、保護者など40人以上が参加。生徒たちは熱心に説明を聞いたほか、意見交換を通じて、学びを深めました

10月８日に行われた３年生の学年集会。保健委員９人が全４クラス131人の前でコロナの３つの顔について説明をしたほか、もし感染した人がいたらどう声をかけたらいいのかなど、事例を紹介しました

ポスターは校内のほか、医療機関、公共施設、町会掲示板などに掲示しました

↖ついて学び、身近な人が感染したら、どう声かけをするかなど、参加者全員で意見を出し合いました。

このなかで、コロナの怖さは「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、「差別」がさらなる「病気」の拡散につながる負の連鎖に陥ってしまうことだと認識した生徒たち。終了後、鎌田さんは「他の生徒にも伝えていきたいです」と力強く話していました。

啓発を学校内から地域へ

10月８日。学年集会で先日の内容を発表する３年生の委員の姿がありました。発表の最後を「皆さんもコロナに打ち勝つために、今できることをしっかり行いましょう」と結んだ９人。１、２年生も同様に学年集会で訴え、思いは全校へ広がっていきました。

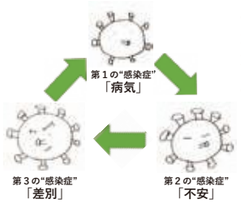
しかし、コロナは校内だけでなく、私たちが住むこのまちにも関わることです。そこで次は地域へ啓発をと、八島奈央子養護教諭の提案を受け、ポスターの制作に。こうして完成した物を冒頭のシーンのように今井病院へ。受け取った同院長は、「学んだことを実践する行動力。すばらしいですね。私たちも勇気づけられます」と、目を細めていました。

感染対策に奮闘した委員

帰り道、八島養護教諭は、「この取り組み以外にも毎日の健康観察票の管理や手洗い指導など、みんな忙しかったのですが、がんばってくれました」と、生徒たちの背中を優しい目で見守っていました。

最後に鎌田さんにこの１年で学んだこと、気づいたことを伺うと、「相手を気遣うことのたいせつさ、そして一人の力は小さくても、仲間と手を取り合うと、大きな力になることがあらためて分かりました」と、まっすぐなまなざしで教えてくれました。

新型コロナウイルスの３つの顔



画像出典　日本赤十字社　新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

コロナに対する不安が広がり、感染者やその家族、医療従事者などへの差別や偏見が生じるなか、日本赤十字社石川県支部では、「新型コロナウイルスの３つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という動画を５月に作成しました。東中学校保健委員会では、本動画を通じて差別や偏見の防止の必要性について理解を深めました。

学校医の今井潔院長にポスター掲示を依頼した東中学校保健委員（11月12日）

Case 2　東中学校保健委員会

差別・偏見の防止へ　伝えたい
コロナの３つの顔

市内公立３中学校では、生徒たちが主体的に取り組む委員会活動が行われています。続く６㌻から９㌻までは、各校の特徴ある取り組みを紹介します。

人は未知なるものと遭遇したとき、本能的に恐れや不安を抱きます。突如現れ、世界を混乱に巻き込んだコロナに関してもこのことが当てはまるでしょう。そのため、一人ひとりが正しい知識を得て、向き合うことが重要です。

ここでは、そうした取り組みを実践している東中学校保健委員会（21人）に迫ります。

きっかけは日赤社の動画

午後の柔らかな日ざしが街路樹を照らしていた11月12日。同委員会の３人は、今井病院（塚越７丁目）を訪れていました。学校医の今井（いまい）潔（きよし）院長に自作ポスターの掲示を依頼するためです。描いたのは、コロナによる差別や偏見の防止を訴えるもの。「感染拡大を防ぐ一歩になればうれしいです」と、委員長の鎌田悠楽さん。

同委員会が取り組みを始めたのは、９月26日に「新型コロナウイルス感染症について考えよう」と題して行われた学校保健委員会がきっかけでした。この日は学校医や保護者たちと手洗いの重要性を確認したほか、日本赤十字社の動画から、コロナの３つの顔「病気」・「不安」・「差別」に↖

一人の力は僅かでも、手を取り合うと
大きな力になることが分かりました

東中学校保健委員会委員長
鎌田（かまた） 悠楽（ゆら） さん（３年）

熱戦が繰り広げられた3年生のスポーツフェスティバル（10月14日）

Case 3　第二中学校運動委員会

ともに考えて作り上げた
スポーツフェスティバル

準備を重ねた3年生の委員たち

第二中学校運動委員会委員長
田口 杏（たぐち あん）さん（3年）

「できない」を「できる」へ
発想の転換が身につきました

体育祭の代替大会を開催

「正々堂々と戦うことを誓います！」。運動委員会委員長の田口杏さんの高らかな声で幕を開けた第二中学校のスポーツフェスティバル。各校の体育祭が中止となるなか、二中では体育教諭たちが学年別の代替開催を提案すると、校内に歓喜の声が上がりました。以降、同委員会では感染防止と両立する種目や応援方法などを話し合うとともに、当日に向けて練習に励み、10月14日の本番に臨みました。

全員リレーを皮切りに綱引き、選抜リレー、そして大縄跳び。制限があるなかでも、校庭いっぱいに躍動感あふれるパフォーマンスが繰り広げられました。終了後、田口さんは「大成功です！みんなで協力して中学校生活最高の思い出ができました。この機会を作ってくれた先生がたには感謝の気持ちでいっぱいです」と、息をはずませていました。

経験が今後の人生の糧に

生徒たちを支え続けた大熊淳教諭は、「一人ひとりが役割を果たし、よいイベントになりましたね。取り組みを進めるうちに目の輝きが増し、団結力も深まっていく様子に、手応えを感じていました。自ら考え、作り上げたこの経験は今後の糧になるはずです」。

最後に田口さんにこの1年で学んだこと、気づいたことを伺うと、「以前はコロナで、できないことばかりで嫌だなと思っていたのですが、今は『できる方法を考えよう』と、発想を転換する習慣が身につきました」と、満面の笑みで答えてくれました。

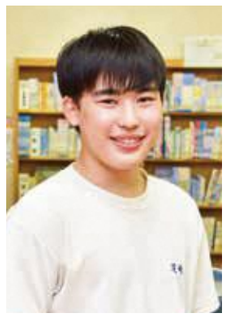
大熊 淳（おおくま あつし）教諭

Case 4　第一中学校図書委員会

安全に利用できる環境を
工夫を重ねて守る図書室

図書委員が返却本を本棚に戻す作業も新たに加わったルールの一つです

昼休みに開放している図書室



第一中学校図書委員会委員長
芝崎 颯汰（しばさき そうた）さん（3年）

「人生は一生勉強」
いろいろと挑戦し、吸収したい

再開求めて新ルール作成

好奇心をくすぐり、ゆったりとした時を過ごせる図書室。第一中学校の図書委員会は、そんな「たいせつな場」を工夫しながら守っています。

休校明け後、一中では利用休止していた図書室を同委員会（15人）や、全校生徒の声を受け、再開を検討するように。委員長の芝崎颯汰さんは、愛着ある室内を見渡し、「校内に楽しい場所があるっていいですよね。特に1年生は新生活にわくわくする時期なのに、休校になったり制約があったりと気の毒で。そんなときこそ図書室が必要と思い、声を上げました」と振り返ります。

それから、図書主任の小川玲子教諭の助言を基に、入室時の消毒励行をはじめ、室内の一方通行制や人数制限の導入など、安全面を考慮したルールを打ち出した同委員会。

そして8月31日、本をめくる音が図書室に戻りました。

先輩の姿勢を後輩が継承

更に再開と合わせて同委員会はPR活動を開始。週1回給食中の放送でお勧めの一冊を紹介しています。その様子に小川教諭は、「みんなの力で以前より利用冊数が増えています。なにより先輩たちの熱心な姿勢が後輩たちに受け継がれているのが心強いですね」と、頼もしそうに見つめます。

最後に芝崎さんにこの1年で学んだこと、気づいたことを伺うと、「休校中、『人生は一生勉強』という内容の本を読み、これからいろいろなことに挑戦し、吸収していきたいという思いが強くなりました」と目を輝かせていました。

小川 玲子（おがわ れいこ）教諭

蕨高校吹奏楽部

蕨高校音楽部

東中学校

“私たちがこの１年で学んだこと、気づいたこと”

各校の皆さんに、フリップに書いて教えてもらいました。前ページまでに紹介できなかった写真とともに、御覧ください。

第二中学校

第一中学校

11月中旬、蕨高校から動画完成の一報が入り、早速同校へ。出迎えてくれた両部の部員たちの表情は、作品への自信に満ちあふれていました。

最後に、両部長にこの１年で学んだこと、気づいたことを伺うと、音楽部部長の石田さんは、「なにをするにも、これまでの方法を手本にできず、いろいろ悩みました。でも試行錯誤するうちに、視点を変えながら柔軟に対応していくことが大事なんだなと、気づきました」と、ほほえみます。

一方、吹奏楽部部長の拝郷さんは、「勉強も部活も自ら考え、行動することが必要かなと。なにより先が見えないこんなときこそ『為せば成る』という強い心を持つことがたいせつだと、実感しました。そうすれば必ず道が開けると信じています」と、はにかみながらも、はっきりとした口調で教えてくれました。

■

レンズ越しに見た学校生活。そこには生徒たちのいろいろな表情がありました。

音を奏でるときに見せる、いきいきとした顔つき。たいせつなことを伝えたいと訴える、真摯なまなざし。仲間と勝利を喜ぶ、はじける笑顔。

そうした明るく懸命に取り組む姿や前向きな言葉の数々に勇気づけられました。

■

「いま、できることを」。一歩踏み出したそこから、新たな日常が始まるはずです。

いま、できることを
そこから始まる新たな１ページ

新型コロナウイルス関連情報

ここでは、新型コロナウイルス感染症に関連した情報を紹介します。なお、最新情報は市ホームページをご確認ください。

蕨市新型コロナ緊急対策 第４弾を発表

総事業費
7,744万円

検査・医療体制の拡充と更なる感染防止対策を実施する蕨市新型コロナ緊急対策第４弾を先月24日に発表。内容は下記のとおりです（本対策の補正予算は12月議会に提出）。

1 検査・医療体制の拡充

◇高齢者等新型コロナウイルス検査助成…… 520万円
→重症化するリスクが高い65歳以上の高齢者及び60歳以上の基礎疾患を有する者のうち、検査希望者に費用の一部を助成

◇濃厚接触者以外の新型コロナウイルス検査委託…… 154万円
→児童生徒や高齢者等に関連する施設及び職場等身近な集団に新型コロナ感染者が発生した場合に、埼玉県が行政検査の対象外とした者について、検査希望者に市負担でＰＣＲ等検査を市立病院において実施（関連13㌻）

◇行政検査協力医療機関支援補助…… 100万円
→ＰＣＲセンターへの協力機関として、行政検査を実施する医療機関に対し、体制整備の支援として、１医療機関当たり10万円を給付

◇市立病院における医療体制の充実
→①「埼玉県指定　診療・検査医療機関」の指定病院として、発熱患者に対し、新型コロナ感染症とインフルエンザの両方の診療・検査に対応できる体制を整備
②一度の検体採取で、新型コロナ感染症とインフルエンザの同時検査に対応できる検査キットの導入
③検査スタッフが安全に検査を行えるよう安全キャビネットを設置

2 感染防止対策

◇高齢者等インフルエンザ予防接種無償化の延長
→65歳以上の高齢者及び60歳以上の基礎疾患を有する者に対するインフルエンザ予防接種の無償接種期間を市独自に１か月延長し、来年の１月末まで実施

◇新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業……6,970万円
→保育園をはじめとする児童福祉施設が取り組む新型コロナ感染対策への支援として、国・県の補助金を活用し、１事業当たり最大で100万円を補助

これまでの緊急対策

第１弾から第３弾までの総額　**11億3,291万円**

第１弾（４月発表）
総額 **2億7,483万円**

１企業当たり10万円を給付する小規模企業者応援金や、マタニティパスの交付に加え、家庭学習の支援、医師会への感染防護用品の配備など、計８項目

第２弾（５月発表）
総額 **1億9,336万円**

市内全ての家庭、事業所の水道料金基本料金２か月分の無料化や、オンライン学習に向けたPC整備の前倒し、公共施設での感染予防対策の強化の計３項目

第３弾（７月発表）
総額 **6億6,472万円**

PayPayポイント還元キャンペーンや小規模企業者応援金第２弾に加え、アーティスト動画配信プロジェクト、災害対策用資機材等の整備など、計11項目

事業所向けの主な支援策（各種条件あり）

●小規模企業者新型コロナ対策支援事業
対象＝新型コロナ対策を実施し、蕨商工会議所の支援を受けて国の小規模事業者持続化補助金を申請した市内に事業所がある小規模企業者　※事業再開枠に分類される取り組みは対象外です。詳しくはホームページでご確認ください。
採択時＝事業主負担分（上限25万円）を補助。国の採択後、市に申請し、事業が完了後、補助金額が確定してから市へ事業報告・請求をしてください。
不採択時＝新型コロナ対策に係る経費のうち、３分の２（上限25万円）を補助します。国の不採択後、市に申請し、事業完了後に市へ事業報告・請求を。
詳細＝商工生活室（☎433・7750）

●令和３年度固定資産税・都市計画税の軽減
対象＝新型コロナなどの影響により、令和２年２月から10月までの連続する３か月間の事業収入が前年同期比で30％以上減少した中小企業
対象資産＝償却資産及び事業用家屋
軽減割合＝収入の減少率が30％以上50％未満／２分の１　減少率が50％以上／全額　※その他措置あり。
詳細＝税務課固定資産税係（☎433・7708）

アーティスト動画配信プロジェクト！！

市内の文化芸術の担い手を支援するとともに、市民の皆さんに文化芸術活動に触れる機会を提供します

コロナ禍で活動の場が制限されているアーティストの動画を市ホームページで順次配信しています。文化芸術の力で市民の皆さんにエールを送るアーティストたちの多彩な作品をぜひ、御覧ください。
詳細＝生涯学習スポーツ課（☎433・7729）

個人向けの主な支援策（各種条件あり）

●市内施設等ＰＣＲ検査費用助成
児童生徒や高齢者等に関連する施設及び職場など、身近な集団に新型コロナ感染者が発生した場合で、県が実施する行政検査や保険診療の検査の対象とならない人にＰＣＲ検査を実施します。
期間＝３月31日まで
費用＝無料
詳細＝保健センター（☎431・5590）
※検査を受けるには一定の条件があります。

●傷病手当金
蕨市国保か後期高齢者医療保険の加入者で、新型コロナウイルス感染症に感染または疑いで給与の支払いを受けられない人に手当を支給します。
対象期間＝令和２年１月１日～12月31日
詳細＝医療保険課（☎433・7736）

●一時的な資金の特例貸付
緊急小口資金＝休業などにより、生計の維持が困難な世帯に、最大20万円を貸し付けます。
総合支援資金＝失業などにより、日常生活の維持が困難な世帯に、最大月20万円を貸し付けます。期間は原則３か月以内。
詳細＝蕨市社会福祉協議会（☎443・6051）

相談・お知らせシステム

●蕨戸田市医師会新型コロナウイルス相談センター＝月曜日～土曜日の午前９時～午後５時　☎080・2365・8713
※お問い合わせに看護師または保健師（必要に応じて医師）が応じます。
●埼玉県LINEコロナお知らせシステム＝不特定多数の人が利用する施設や店舗などで新型コロナ陽性者と濃厚接触した可能性のある人にお知らせします。詳細は県ホームページでご確認を。

発熱などの症状がある場合の受診方法が変わります

これまでは「帰国者・接触者相談センター」に相談し、かかりつけ医を受診していましたが、今後は、県ホームページなどで公表されている「埼玉県指定　診療・検査医療機関」に予約して受診し、医師の判断で必要に応じて新型コロナやインフルエンザの検査を行います。

これまで
帰国者・接触者相談センターに電話
↓
かかりつけ医を受診
↓
必要に応じて、新型コロナウイルス感染症の検査を実施、または検査できる医療機関などを紹介

今後
埼玉県指定　診療・検査医療機関を予約
★ホームページ等で医療機関名は公表
↓
受診し、新型コロナやインフルエンザの検査などを実施
★受診に迷った場合の相談窓口として「埼玉県受診・相談センター」を設置

ベジフェス 開催中（今月12日まで）

▶りっぱなゴボウに感嘆する天ぷら東月の川添さん（左）と農家の貫井さん（右）

蕨の農家が育てた野菜を市内飲食店を今月12日まで開催しています。ここで味わうことができる「ベジフェス」ではその概要について紹介します。

新鮮でおいしいと評判の地元・蕨の野菜を味わってもらいながら、新型コロナの影響を受けている飲食店を応援する「ベジフェス」を今月12日まで、市内8つの店舗で開催しています。

お店ごとに特製メニューを用意しており、冬にぴったりの温かい鍋やサクサクの天ぷらなどさまざま。蕨の農家の皆さんが丹精込めて育てた野菜を、蕨の料理人が腕を振って、その魅力を最大限引き出しています。

各店舗では、感染症対策にしっかり取り組んでいますので、ぜひ、蕨産野菜と飲食店のコラボレーションから生まれた特製メニューで蕨の「美味しい」を味わってみてはいかがですか。

和楽備茶漬け 焼きおにぎりとふろふき大根のあんかけ出汁漬け

コーヒーベル
住＝中央４－22－２
営＝午前９時半～午後７時
休＝日・水曜日
※「ベーコンとたっぷり蕨産キャベツのパスタ」も提供中。

店主 加藤（かとう） 光男（みつお） さん

味の染みたダイコンと梅の香る焼きおにぎり、ふんわり玉子と絡んだ優しいだし入り餡（あん）が熱々のまま味わえます。柚子（ゆず）の香りが食欲をそそる心まで温まるお茶漬けです。

ごぼうとねぎの天ぷら

天ぷら東月
住＝中央１－27－10
営＝午前11時半～午後１時半
午後６時～10時
休＝月曜日

店主 川添（かわぞえ） 崇史（たかし） さん

ゴボウのシャキシャキした食感とネギのとろっとした甘さをそのままに天ぷらにしました。特製の天つゆに混ぜた大根おろしとの相性は抜群です。

蕨野菜たっぷりのとろとろ湯豆腐鍋

囲炉裏と蒸し鍋 和み
住＝中央１－９－３
営＝午後４時～11時
休＝日曜日

店主 布上（ぬのがみ） 英哉（ひでや） さん

豆腐を溶かした芳醇（じゅん）なスープがクリーミーに仕上がっています。スープと野菜、湯豆腐が絡み合って絶品です。締めはきしめんがお勧めですよ。

フォアグラ大根

BAR RAIZ（バー ライズ）
住＝北町１－４－19
営＝午後７時～午前５時
休＝日曜日

店主 田澤（たざわ） 暁（さとる） さん

だしが染みたダイコンとこってりしたフォアグラ、さっぱりしたネギが三位一体となり合わせて食べると最高です。お酒との相性も抜群ですので、おつまみにどうぞ。

里芋のコロッケ

中仙道山あつ
住＝中央５－16－11
営＝午前11時半～午後２時
午後５時半～９時半
休＝水曜日

店主 山本（やまもと） 篤（あつし） さん

サトイモを使った芋煮をサクサクの衣で包んだコロッケは、こだわりの風味豊かな味付けで仕上げています。まずはなにもつけずにそのまま召し上がってください。

彩り野菜の和風バーニャカウダ

日本料理くりはら
住＝塚越１－９－18
営＝午前11時半～午後２時
午後５時半～10時
休＝日曜日

店主 栗原（くりはら） 正寿（まさとし） さん

和風にアレンジしたオリジナルバーニャカウダ。色とりどりの野菜を目でも楽しめるよう、盛り付けにもこだわりました。ぜひ、ご堪能ください。

蕨産野菜の鶏鍋

居酒屋しんの
住＝中央４－14－４
営＝午後６時～午前０時
休＝日・月曜日

店主 鈴木（すずき） 慎乃助（しんのすけ） さん

削り節でとった鰹（かつお）だしのスープにハクサイやネギなどをたっぷり入れた具だくさんの鶏鍋。この寒い冬にぴったりで、体の芯から温まる一品です。

生姜焼き＋蕨産野菜のプレート

ラ・テラス大作
住＝中央３－４－１
営＝午前11時半～午後３時
午後５時半～９時
休＝不定期

店主 須賀（すが） 泰史（やすし） さん

ショウガを使った特製だれにこだわりの豚肉を漬け込んで作った生姜焼きです。肉と野菜をたれに絡めたらご飯がどんどん進むこと間違いなし。

※ベジフェスについての問い合わせは商工生活室（☎433・7750）まで。

リポート そこが知りたい〈140〉

皆さんの声を市政に生かします
市民意識調査の結果まとまる

蕨の「いま」を伝えます!!

市は、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを進めるため、市内在住の18歳以上の男女を対象に、市民意識調査を毎年行っています。ここでは主な調査結果を紹介します。

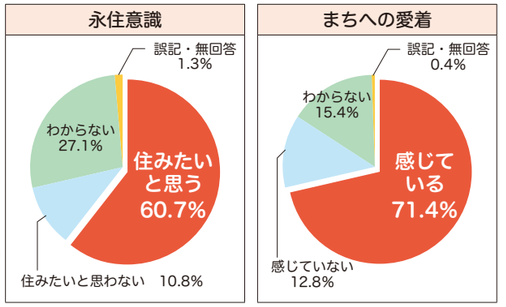
みんなの笑顔があふれるまちへ

まちへの愛着は7割以上 暮らしやすさに高い評価

今回の対象者は1,000人。そのうち461人から回答がありました。回収率は46・1%となり、昨年より3.2ポイント上昇しています（下囲み）。

それでは主な項目を見てみましょう。まず、「まちへの愛着」を「感じている」と答えた人は71・4%となり、昨年同様7割を超えました（上円グラフ）。その理由は、「買い物など生活に便利だから」が1位、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が2位でした。

また、今後も蕨市に「住みたいと思う」と答えた人は60・7%となり、その理由は、環境面では「住みなれているから」が、生活面では「消費生活が便利だから」が1位でした。いずれの結果からも、多くの人が蕨のまちを暮らしやすいと感じていることがうかがえます。



※小数点以下第2位を四捨五入

令和2年度市民意識調査

調査期間：8月4日～25日
調査内容：
◎まちへの愛着
◎永住意識
◎まちづくり（防災、子育て、高齢期に大切なこと、まちのにぎわいについてなど11分野）
◎重点施策　など全32項目
対象：市内在住の18歳以上の男女1,000人（無作為抽出）
回収率：46.1%（461人）

安全安心分野に高い関心 着実な事業で満足度向上

次に、今後の市政の重点施策36項目について、「重要度」の両面からお聞きしました（上囲み）。

「重要度」は、1位が「防災対策」、2位が「防犯対策」、3位が「消防・救急体制」となり、昨年に続き、安全安心分野への関心が上位を占めました。

「満足度」は、1位が「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、3位が「子育て支援」となり、今年に完了した消防署塚越分署の建替えや、コミュニティバスの運行ルート拡充などの効果がうかがえます。

コロナ関連の調査も実施 更に住みよいまち目指す

今回は、新型コロナウイルス感染症についてもお聞きしました。98・9%の人が、「手洗い・うがい、手指消毒」などの感染予防対策をしており、94・5%の人に、「外出時の制限」など生活への影響が出ていることが分かりました（上囲み）。

市ではこうした結果を基に、今後も各施策の充実を図ります。結果は市民活動推進室や各公民館、図書館、市ホームページで御覧になれます。

重点施策の重要度

1位	防災対策
2位	防犯対策
3位	消防・救急体制
4位	財政の健全化
5位	上・下水道の整備、雨水対策

市民の生命を守る防災拠点 塚越分署の建替えが完了

重点施策の満足度

1位	消防・救急体制
2位	コミュニティバスなどの公共交通の充実
3位	子育て支援
4位	学校教育の充実
5位	防災対策

新しい地域の足に。4台目コミュニティバス運行開始

新型コロナウイルス感染症	感染予防対策をしている人	生活に影響が出ている人
	98.9%	94.5%

市民意識調査に関する問い合わせ＝政策企画室（☎433・7698）

市政この1年 ㊐＝新型コロナ関連

1月
8日 市ホームページリニューアル
12日 消防出初式
13日 第74回蕨市成年式

2月
2日 避難所運営訓練（西小学校）
7日 第2期蕨市教育振興基本計画を策定
11日 市制施行60周年 出張！なんでも鑑定団 in 蕨の公開収録（市民会館）
21日 ㊐イベントや集会の自粛または延期の判断を示す対応方針を決定
歴史民俗資料館第39回特別展（～8月30日　この間、臨時休館あり）
29日 蕨駅ホームドア供用開始

3月
2日 ㊐小・中学校の臨時休業（～5月31日）
㊐公共施設の臨時休業（段階的に強化し5月31日まで実施）
4日 蕨ブランド認定書（第二期）授与式
10日 荒川氾濫時の想定浸水深を電柱に表示
12日 第3次蕨市防犯計画を策定
23日 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランⅡを策定
24日 改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定
27日 コミュニティバス運行ルートを拡充
31日 第2期蕨市子ども・子育て支援事業計画を策定
改訂第3次蕨市生涯学習推進計画を策定

4月
1日 民間認可保育園を開設（蕨錦町ゆたか保育園）
小規模保育園を2園開設（えなぎ保育園、こまどり保育室）
民間留守家庭児童指導室を開設（キッズクラブ塚越）
7日 ㊐妊婦のかたへのマスク提供を開始
21日 商店街街路灯電気料の補助率を100%に引き上げ
28日 高齢者運転免許証自主返納者を対象とした助成事業を開始
30日 ㊐緊急事態宣言への対応方針を決定
蕨市新庁舎建設基本設計を策定
㊐蕨市新型コロナ緊急対策第1弾を発表（2億7483万円　詳細12ページ）
蕨駅西口指定喫煙所を廃止
㊐特別定額給付金の申請受付開始（～8月31日　郵送申請は6月1日～）

5月
1日 ㊐蕨市ひとり親家庭等支援臨時給付金を支給
20日 ㊐蕨市新型コロナ緊急対策第2弾を発表（1億9336万円　詳細12ページ）
21日

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課（☎433・7703）へ

●無料で差し上げます

▶**スイングウォーカー**（足踏み式エクササイズマシーン）40㌢㍍×50㌢㍍のマット付き　10年ほど前に購入し、10回程度使用　取りにきてくれる人＜葛西・☎442・8560＞

●仲間になりませんか

▶**わらびハーモニカクラブ**　水曜日　午後1時　西公民館　月2,000円　初心者大歓迎＜重田・☎433・7375＞

▶**和楽備ストレッチ・脳トレーニング＆ラジオ体操　絆の会**　月・水・金曜日　午前6時15分　城址公園（市民会館裏）新たに認知症予防教室を実施　会場・時間など詳細は確認ください　要費用＜平田・☎080・4179・6907＞

▶**ねこのみみ**（おしゃべりでふれあい交流）　月1回　正午　市内　500円＜北田・☎432・8501＞

▶**楊名時**（太極拳）　土曜日　午後2時半　蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル　月4,500円＜浦島・☎224・5915＞

▶**蕨塚越サッカースポーツ少年団**　土・日曜日・祝日　東小学校か塚越小学校　月2,500円　年長～小学生＜浦野・☎090・4139・1382＞

▶**南囲碁クラブ**　火曜日　午前9時半　南公民館　無料　詳しくはホームページで確認ください＜山本・☎432・4543＞

▶**竹紫館**（剣道）　月・水・金曜日　午後6時半　同館（中央2-12-16）月2,000円　小学生＜照井・☎090・8478・8294＞

●ご相談ください

▶**蕨断酒会**（酒害相談）　1日（火）＝中央公民館　11日（金）＝南公民館　17日（木）＝旭町公民館　午後7時　語り合いの場＜高橋・☎090・2302・8510＞

市政この1年 ㊐＝新型コロナ関連

5月
26日 ㊐イベント等の開催及び公共施設の利用に関する方針を決定
㊐緊急事態宣言解除に当たっての市の対応等についての方針を決定
㊐小・中学校が再開
㊐イベント等の規模制限を解除
㊐子育て世帯への臨時特別給付金を支給（6億6472万円　詳細12ページ）
㊐蕨市新型コロナ緊急対策第3弾を発表
㊐ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を開始（～1月29日予定）
㊐PayPay㈱とキャッシュレス推進に関する包括連携協定を締結（10月1日～31日＝キャンペーン）
消防署塚越分署開署式（運用25日～）
蕨駅西口地区市街地再開発組合設立認可

6月
1日 ㊐イベント・公共施設を段階的に再開
23日 ㊐イベント等の規模制限を解除
26日 ㊐蕨市新型コロナ緊急対策第3弾を発表（6億6472万円　詳細12ページ）

7月
8日 ㊐蕨市新型コロナ緊急対策第3弾を発表（6億6472万円　詳細12ページ）
3日 ㊐ひとり親世帯臨時特別給付金の支給を開始（～1月29日予定）
㊐PayPay㈱とキャッシュレス推進に関する包括連携協定を締結（10月1日～31日＝キャンペーン）
4日 消防署塚越分署開署式（運用25日～）
蕨駅西口地区市街地再開発組合設立認可

8月
2日 戦没者追悼式
14日 ㈱ルネサンスと「蕨いきいきキッズプロジェクト」実施に関する協定を締結
23日 市役所仮庁舎（市民会館）に主な窓口業務を移転
28日 ㊐アーティスト動画配信プロジェクトの動画配信開始（～3月31日予定）
歴史民俗資料館第31回平和祈念展（～12月13日予定）

9月
1日 ㊐アーティスト動画配信プロジェクトの動画配信開始（～3月31日予定）
歴史民俗資料館第31回平和祈念展（～12月13日予定）
3日 スケアード・ストレイト交通安全教室　6日＝第一中学校　22日＝第二中学校
6日 第57回蕨市文化祭（～2月14日予定）
18日 第7回小中学校俳句大会表彰式
19日 交流プラザさくら空調設備等改修工事着工
23日 市役所庁舎閉庁式
市役所仮設庁舎に移転
26日 わらびりんごシャーベット販売開始
第37回蕨市けやき文化賞・自治功労者表彰式
京都大学・㈱ほっこりーのプラスとの連携協力に関する協定を締結
園芸品評会
ベジフェス（～12月12日予定　詳細14・15ページ）
㊐蕨市新型コロナ緊急対策第4弾を発表（7744万円　詳細12ページ）

10月
3日 第5回議会報告会　第1部放映（ケーブルテレビ～12月10日予定、YouTube～1月3日予定）
4日 第6回蕨市民音楽祭「左手のピアノ国際コンクール」智内威雄によるドキュメンタリー配信とピアノ演奏会（予定）
美術市展を動画配信（～3月末予定）

まちの話題

ここでは10月下旬から11月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

仮装してお菓子をゲット

10月29日、塚越地区留守家庭児童指導室B館で、小学３年生までを対象にハロウィンの催しが開催されました。カボチャやお化けのキャラクターを探すゲームを楽しんだ34人の子どもたちは、かわいらしいハロウィン仕様のお菓子ももらい、室内はお祭りムードに包まれました。

「けやき文化賞」に智内氏

市の文化功労者に贈られる、「けやき文化賞」の表彰式が11月３日、くるるで開かれました。今年度の受賞者は、蕨市出身で左手のピアニストの智内威雄（ちないたけお）氏。智内氏は市民音楽祭の企画・出演をはじめ、成年式における演奏など、音楽を通じて文化芸術の振興に尽力されています。

笑顔広がる西小キャンプ

コロナの影響で行事が中止や縮小されるなか、「みんなで思い出に残ることを」と、西小学校の５、６年生が11月６日、「西小キャンプ」を開催しました。自ら点火した火を囲んでダンスをしたり、大型スクリーンで自作映像を鑑賞したりと楽しい時間を過ごした152人。校庭には笑顔があふれていました。

CATV 地デジ11ch 「ハローわらび」12月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前９時・正午・午後３時・６時・９時からそれぞれ45分間です。

	11/27(金)～12/3(木)	4(金)～10(木)	11(金)～17(木)	18(金)～24(木)	25(金)～31(木)
00	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	タウンタウンワイド	市政ガイド 新型コロナウイルスに係る蕨市の対応について	タウンタウン 左手のピアニスト･智内威雄 第６回蕨市民音楽祭
05	タウンタウン 大学等との連携協定を締結	タウンタウンワイド さつき保育園の公園ピクニック	中東小ソフトボール大会 さくら保育園のダイコン掘り	タウンタウン 錦町児童館のクリスマス会	日本髪勉強会
10	蕨市政なう！ 進む！子育て世代に優しいまちづくり	わらび創業講座で店舗運営体験 飲食店×蕨産野菜ベジフェス	北小学校創立150周年記念式典	特集・ウィークリープラス アーティスト動画配信プロジェクト‼ in Warabi	蕨市政なう！ 2020 映像で振り返る蕨市政この１年
15			特集・ウィークリープラス 蕨高校吹奏楽部×音楽部～コロナ禍の挑戦～		
20	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん	市政ガイド 市民意識調査結果がまとまる		特集・ウィークリープラス 美術市展	採れたてスポット 年末年始のお知らせほか
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

都合により放映内容が変更となる場合があります　ご理解ご協力お願いします　詳細＝秘書広報課（☎433・7703）

ほっと・エッセイ 133

検査・医療体制の拡充と更なる感染防止対策へ 新型コロナ緊急対策第４弾

市長　頼髙英雄

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大に加え、インフルエンザとの同時流行も懸念されるなか、蕨市では、新型コロナから市民の命と健康を守るため、新型コロナ緊急対策第４弾をとりまとめました。

第４弾は２つの柱からなり、１つ目は検査・医療体制の拡充です。重症化リスクの高い高齢者等へのＰＣＲ検査費用の助成や学校・職場などで感染者が発生した際に濃厚接触者以外で希望する市民への市費による検査を行うほか、新型コロナの行政検査にご協力いただく市内医療機関への支援として10万円を給付します。また、市立病院では、県の「指定診療・検査医療機関」として、インフルエンザと新型コロナの同時検査に対応できる体制整備を進めていきます。

２つ目は感染防止対策です。高齢者等インフルエンザ予防接種の無償期間を市独自に１月末まで延長するほか、保育園や学童保育室など児童福祉施設が行う感染対策に最大１００万円を補助していきます。

私はこれからも市長として、市民の皆さんの健康と暮らしを守るため、全力を尽くしてまいります。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第１木曜日。今月は３日です。１月は７日です。時間は午後１時～５時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

京都大・企業と三者協定

11月10日、蕨市と京都大学（COI拠点研究推進機構）と㈱ほっこりーのプラスの三者間で連携協力に関する協定を締結しました。今後は遠隔通信やＡＩを活用した産後うつ予防など、子育て支援の新たなモデルを構築し、女性と子どもの心と体の健康サポートを進めます。

大きなダイコンとれたよ

11月18日、さくら保育園の５歳児クラスの29人が、下蕨ファミリー菜園でダイコン掘りに挑戦しました。土にしっかり根を張ってなかなか抜けないダイコンを、歓声を上げながら力いっぱい引っ張った子どもたち。大満足の一日となりました。

わが家のアイドル

―584―

時道（ときみち）ちゃん（３歳10か月）

大楠（おおはし）　隆典（たかのり）さん

直美（なおみ）さんの 長男

北町３丁目

「いつもにこやかな笑顔をくれる時道。電車に夢中で、２時間見ていたこともあるんですよ。最近は、２つ上のお姉ちゃんと二人で、９か月の弟の世話をよくしてくれます。離乳食を食べさせる姿は心が和みますね」と、母親の直美さん。「名前には、時代を創り、道を切り開く人にという願いを込めました」と、父親の隆典さん。「ずっと仲よし姉弟でいてほしいですね」と、お二人。

広報蕨　八四一号　令和二年十二月一日発行　毎月一回発行　印刷・㈱秀飯舎

輝いてます ひと

埼玉県高校弓道新人戦団体３位

磯野 勇輝 さん

一心不乱に弓を引く磯野さん

一瞬一射に思いを込める

２メートルを超える弓を全身で引き絞り、28メートル先にある直径36センチメートルの的を狙う弓道。心技体がそろった射を目指し、いちずな情熱をささげているのは高校２年生の磯野勇輝さん（17歳・塚越６丁目）。川口北高等学校の弓道部員として、仲間と鍛錬に励んでいます。

高校入学後、新たに挑戦できることを探していた磯野さん。弓道場の雰囲気や和の装いにひかれ、入部を決めます。最初は射法八節という弓を引く一連の動作に戸惑いますが、同期で真っ先に的に中てるなど技術を磨いていきました。

ところが、上達過程で陥る人が多い、早気といわれる矢を無意識に早く離してしまう癖が磯野さんを苦しめます。改善に足踏みする状況に焦りを感じますが、自主練習などで心を落ち着かせて基本動作を反復することで、徐々に症状を克服。コロナ禍で部活が休止するなかでも体幹トレーニングを行い、着実に精神力と体力を高めていきました。

そして、みごと３人制の代表に選ばれて迎えた10月３日の県新人戦。磯野さんは思わぬ事態に直面します。筋力と弓の張りのバランスが崩れ、矢が下方に集まってしまうのです。思うように的を捉えられず苦戦しますが、仲間の渡部主将と松浦さんが窮地を救い、県３位に。東日本大会への出場権を獲得します。

「自分が実力を出せれば優勝できていた…」。悔しさはあるものの、大会で緊張感を味わいながら仲間と引けた弓には格別の楽しさがありました。

現在は弓の張りを強めて、調子も上昇傾向。他県の強豪と相まみえ、１つでも多く的に中てたいと意気込みます。東日本大会は３月に北海道函館市で開催。その勇ましい立ち姿から放たれる矢は、会場の拍手を集め、チームを輝かしい栄光に導くでしょう。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

―No.55―

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁斎筆「九尾の狐図屏風」
絹本墨画淡彩　二曲一双屏風

「王」の文字入りの冠を被る中国風の人物と、腕輪を付けた人物が紐で輪を作り、富士山を餌にして、九尾の狐を捕まえようとしています。河鍋楠美館長によると、本図は幕末・維新期の日本の海外事情を描いた風刺画であり、九尾の狐は欧米列強を表し、植民地化された中国とインドが日本を餌に九尾の狐を捕えようとしている場面とのこと。九尾の狐が尾を広げて飛び上がる姿が、迫力ある屏風です。

河鍋暁斎記念美術館　12月23日(水)まで

「《新富座妖怪引幕》完成140年記念　暁斎の妖怪画」展
同時開催「華やかな『暁斎楽画』の世界―複製本より―」展

開　館＝午前10時～午後４時
休　館＝木曜日、毎月26日～末日、年末年始
ところ＝南町４-36-４
入館料＝一般600円　高校生・大学生500円
小・中学生300円　65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください
詳　細＝同館(☎441･9780)

展覧会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

yosai Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治９年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勧業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。

河鍋 暁斎（かわなべ きょうさい）
天保２年（1831）
～明治22年（1889）

広報紙に載っている写真を希望者に差し上げます（一部を除く）　秘書広報課広報広聴係までご連絡ください